



名古屋マスコット「あくにやん」

# Day by Day 2020年度

名身連聴覚言語障害者情報文化センター 〒453-0053 名古屋市中村区中村町7丁目84番地の1  
TEL(052)413-5885 / FAX(052)413-5853 URL<http://www.meishinren.or.jp/> E-mail [chogen@meishinren.or.jp](mailto:chogen@meishinren.or.jp)  
聴言センター利用時間：月・木・金 9:00~20:30 火・土・日 9:00~16:30 休館日：毎週水曜日、年末年始、臨時休館



## 遠隔手話通訳・要約筆記 ～ 利用についてのQ&A ～

遠隔手話通訳・要約筆記（以下「遠隔通訳」とする）とは、新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、PCR検査や受診等で通訳者が同行できない場合、医療スタッフ等のやり取りを、通信（LINE、Face Time、Skype）を使って通訳が利用できる聴言センターのサービスである。

### ① 遠隔通訳を利用できるのは誰？

身体障害者手帳(聴覚障害)を持っていますか？

はい

名古屋市民ですか？

はい

新型コロナウイルス感染症の症状はありますか？

はい

聴言が必要と判断した場合遠隔通訳をする

名古屋市民で身体障害者手帳を持っていることが条件である。名古屋市民でない方は、住んでいる市町村に確認する。

遠隔通訳はできません。通常の派遣をする。

### ② 利用するのに必要な機器は？

スマートフォン、タブレット端末  
※聴言センターと通信できる機器



持って  
いない

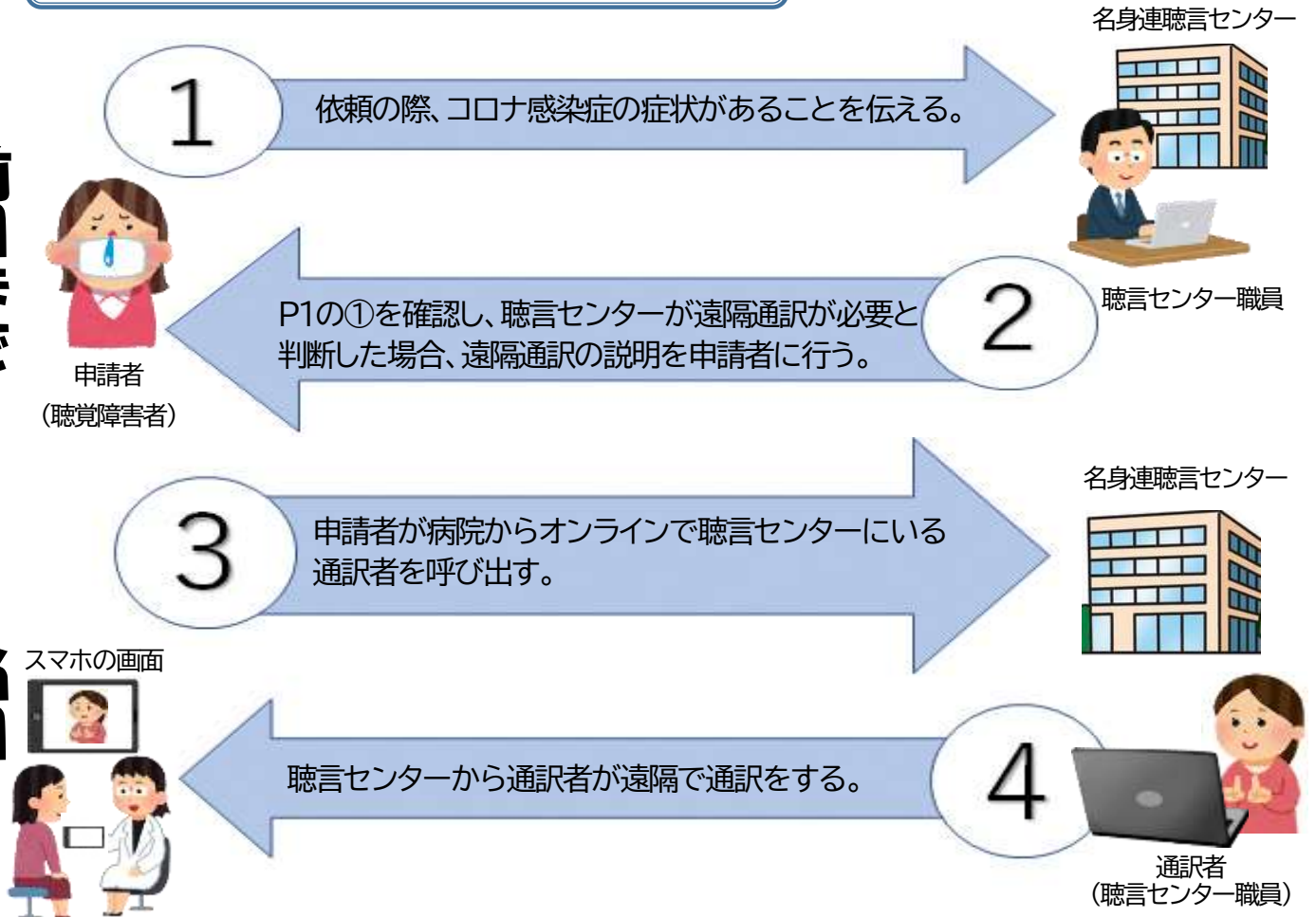


聴言センターから通信機器の貸し出し可能。機器を持ってるかは申込時に確認する。

～ 必要な機器を持っていない、または通信ができるか不安な方 ～  
遠隔通訳が必要となった場合、申請者が当日困ることがないように、聴言センターが対応を行う。不明な点などは聴言センターに確認してほしい。

### ③ 遠隔手話通訳・要約筆記 利用の流れ

前日まで  
当日



### ④ 遠隔通訳が利用できる○&できない×ケースの例

- コロナに感染し入院中で、医師からの説明を通訳してほしい。
  - 濃厚接触者になり検査をしたら、感染していると診断が出たため、病院で受診が必要になった。
  - 保健所からの指示で、軽症者施設となっているホテル等に入所することになった、ホテルで医療スタッフからの説明を通訳してほしい。
  - 病院がコロナ感染予防のため、面会制限、外来者同伴の人数制限等を行っているため、通訳者同伴で受診できない。
- 突然病院に行っても遠隔通訳のサービスは受けられません、基本は事前申し込みが必要です。